



6月定例議会

6月定例議会報告	2
議案審議採決結果	3
ズバリ聞きます!一般質問	5
政治倫理調査会報告	9
全国正副議長研修会報告	10



和水町
NAGOMIMACHI

Vol. **69**

議会だより



2024.8.1 発行

6月議会議案審議

採決結果 町長提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名		審議採決の結果
承認第1号	専決 (補正予算)	専決処分の承認について（令和6年度 和水町一般会計補正予算（第1号））	総務課	原案承認
承認第2号	専決 (条例)	専決処分の承認について（和水町税条例の一部を改正する条例）	税務課	原案承認
承認第3号	専決 (条例)	専決処分の承認について（和水町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	税務課	原案承認
議案第45号	条例	和水町重度心身障がい者医療費助成に関する条例の一部改正について	福祉課	原案可決
議案第46号	条例	和水町下水道条例の一部改正について	建設課	原案可決
議案第47号	条例	和水町スポーツ事故見舞金支給条例の一部改正について	社会教育課	原案可決
議案第48号	補正予算	令和6年度 和水町一般会計補正予算（第2号）	総務課	原案可決
議案第49号	補正予算	令和6年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第1号）	福祉課	原案可決
議案第50号	補正予算	令和6年度 和水町簡易水道事業会計補正予算（第1号）	建設課	原案可決
議案第51号	補正予算	令和6年度 和水町下水道事業会計補正予算（第1号）	建設課	原案可決
議案第52号	補正予算	令和6年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算（第1号）	きくすい荘	原案可決
議案第53号	その他	財産の無償貸与について（菊水ロマン館駐車場）（追認）	まちづくり課	原案可決
同意第4号	人事	和水町農業委員の任命について	農業委員会	原案同意
同意第5号	人事	和水町農業委員の任命について	農業委員会	原案同意
同意第6号	人事	和水町農業委員の任命について	農業委員会	原案同意
同意第7号	人事	和水町農業委員の任命について	農業委員会	原案同意
同意第8号	人事	和水町農業委員の任命について	農業委員会	原案同意
同意第9号	人事	和水町農業委員の任命について	農業委員会	原案同意
同意第10号	人事	和水町農業委員の任命について	農業委員会	原案同意
同意第11号	人事	和水町農業委員の任命について	農業委員会	原案同意
同意第12号	人事	和水町農業委員の任命について	農業委員会	原案同意
同意第13号	人事	和水町農業委員の任命について	農業委員会	原案同意
同意第14号	人事	和水町農業委員の任命について	農業委員会	原案同意
諮問第1号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	住民環境課	原案決定
報告第1号	報告	令和5年度 和水町一般会計繰越明許費繰越計算書について	総務課	報告
報告第2号	報告	令和5年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計繰越明許費繰越計算書について	きくすい荘	報告
報告第3号	報告	令和5年度 株式会社 菊水ロマン館の決算報告について	まちづくり課	報告

条 例：	5件
補 正 予 算：	6件
そ の 他：	1件
報 告：	3件
人 事：	12件
計	27件

令和6年度 一般会計補正予算

2億850万円を追加

総額 91億9,736万円

令和6年

6月

定例議会

報告

令和6年6月議会定例会は、6月10日から14日までの5日間の会期で開催し、議案12件（条例5件、補正予算6件、その他1件）、報告3件、人事12件が上程され、それぞれ可決、承認された。

一般会計補正予算の主なものは、政府の定額減税に伴う調整金給付と低所得者世帯への支援交付金に計1億2,250万円、新型コロナワクチンの定期接種委託料3,106万円、地域公共交通と高齢者福祉に携わるモビリティ人材育成事業の委託料1,200万円、経営発展支援事業補助金375万円。

特別会計では、特定技能1号外国人受け入れに係る登録支援業務委託について債務負担行為の追加補正887万円。

※債務負担行為とは、将来的に支払わなければならない義務的経費。

特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
介護保険事業会計	△350万4千円	14億6,540万5千円
特別養護老人ホーム事業会計	3万2千円	6億4,824万5千円

企業会計補正予算

会計名			補正額	補正後の額
簡易水道事業会計	収益的	収入	792千円	8,030万3千円
		支出	35千円	7,705万2千円
	資本的	収入	0千円	7,513万2千円
		支出	0千円	8,583万円
下水道事業会計	収益的	収入	0千円	2億745万5千円
		支出	△22万1千円	2億570万8千円
	資本的	収入	120万円	8,225万7千円
		支出	244万5千円	1億944万6千円



秋丸 要一議員



わが町は消滅可能性自治体と公表されたが、 どのような方策を持って脱却するのか！

秋丸 今回の報道に対して町長の率直な思いは。
町長 危機感を庁内で共有し脱却に向けプロジェクトチームを設置した。将来ビジョンを修正し総合戦略を策定して来年度の予算で事業化に向けて政策を展開する。

秋丸 急激に人口減少している要因は何か。
まちづくり課長 20代から30代の若年女性人口は5年間で192人減少している。

町長 若年世代の女性人口を増加させるために女性が安心して働ける場所と雇用などを確保する必要がある。

秋丸 町が生き残るには子どもを増やすしかない。年少人口は6年後に何名になるか。

まちづくり課長 2030年の年少人口は725人になり人口比率8.4%と推計している。

秋丸 今年度の少子化対策にどれくらいの予算を計上しているか。

まちづくり課長 約9,400万円程度になる。

秋丸 脱却に成功した自治体は、当初予算の3%ぐらいは計上している。2億円ぐらいは計上すべきではないか。

まちづくり課長 プロジェクトチームの中で検討していく。

秋丸 移住定住の観点から 町内の民間アパートに居住されている総世帯数は把握されているか。

まちづくり課長 認識していない。

秋丸 高森町では、新築住宅に上限500万円、中古で100万円を支給しているが、町の考えは。

まちづくり課長 プロジェクトチームの中で検討していく。

秋丸 経済的支援策として

①小、中学校の修学旅行費用の助成

②条件付きで奨学金の返還免除制度

③高校生の通学費用の補助金支給

3点について町の見解を問う。

まちづくり課長 ご提案はプロジェクトチームの中で検討していく。



笹淵 賢吾議員



将来に希望の持てる「食料自給圏計画」を 猪被害対策は地域共同の取り組みで 災害に該当しない崩れた部分も小規模工事実施を

笹淵 農業経営基盤強化法の改正で令和7年3月まで「地域計画」を策定する計画だが目的と進捗状況は。

町長 地域計画は高齢化や人口減少に伴い、地域農業をどのように維持発展させていくのか、地域で話し合い将来像を示した地域計画を作成する。

笹淵 高崎市は市民懇談会や農業者懇談会を開催し、生産者と消費者双方の視点から課題をとらえ、市農業の将来像に「多様な農業による食料自給圏の形成」を掲げ進めてきた。町の「地域計画」は将来に希望が持てるよう高崎市のような「食料自給圏計画」の作成を。

農林振興課長 今年度有機農業推進協議会を立ち上げ、自給率の事も検討していきたい。

笹淵 大分県は荒れた農地を地域で共同管理し15年間で猪の被害が半減している。山奥から下っ

てくる原因を取り除くため柵の隙間や草むらをなくし放置された農地や栗・柿の手入れをしている。里山境界や耕作放棄地の草刈りの共同作業に補助金制度を設けてはどうか。多くの猪を捕獲している隊員の表彰を。

農林振興課長 耕作放棄地が増加し猪の被害が増え対策の整備制度がある。表彰については検討したい。

笹淵 温暖化により大雨や線状降水帯の被害が大きくなり通行に危険なところがある。区長さんからの要望はそのままの所があり小さな被害も工事できる町独自の制度を設けてはどうか。

建設課長 災害に該当しない崩れた部分の独自補助は小災害事業として40万円未満の工事の申請を受けている。

6月定例会 賛否一覧表

賛否が分かれた議案だけを掲載
○は賛成 ×は反対 ーは欠席
△は除斥

議 案			議員名										
			亀崎 清貴	千々岩 繁	木原 泰代	荒木 宏太	白木 淳	齊木 幸男	竹下 周三	秋丸 要一	笹淵 賢吾	坂本 敏彦	高木 洋一郎
承認第3号	専決(条例)	専決処分の承認について（和水町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※
諮問第1号	人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	△	○	○	×	○	×	×	○	※

※議長は可否同数または特別議決の時以外表決に参加しません。

陳 情 等 の 審 査 結 果

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
86	令和6年 5月23日	2024年原水爆禁止国民平和行進への支持賛同・参加のお願い	配付	
95	令和6年 5月29日	ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書提出を求める陳情書	配付	

【継続審査分】

受付番号	受付年月日	件 名	審査結果	付託委員会
286	令和5年 11月17日	和水町議会の一部議員における守秘義務違反（情報漏洩）、期日遅延、除斥違反などの地方自治法および和水町各条例に対する度重なる違反及び帮助、公開委員会等において住民（実名）に対する名誉棄損などの議会の不適切運営を是正することを主旨する請願書	継続 審査	令和5年 請願第1号 特別委員会

■人／事／案／件■

令和6年第2回定例会（6月）において、和水町農業委員について上程され、次のとおり同意されました。
和水町農業委員

○中央地区 猪口 琢真 ○南地区 本山 鉄雄 ○東地区 有働 憲一
○西地区 荒木 豊 ○緑地区 武田 祐誠 ○神尾地区 牛島 宣雄
○春富地区 吉永 剛 ○農業委員会玉名地方女性の会推薦 古郷 明子
○農業委員会玉名地方女性の会推薦 田島 たまみ ○JA玉名推薦 中村 誠也
○和水町商工会推薦 中山 和之
任期：令和6年8月1日～令和9年7月31日

令和6年第2回定例会（6月）において、人権擁護委員について上程され、次のとおり決定されました。

○人権擁護委員 木原 泰代
任期：令和6年7月1日～令和9年6月30日



荒木 宏太議員



公共施設の最大限の活用と使用料減免基準の見直しを子ども議会での訴え、解決に向けて消滅可能性自治体からの脱却に向けて

荒木 町公民館を利用する場合、使用料の減免措置があると思うが、現在、使用料減免基準において町主催以外の団体で使用料を免除している団体はあるか。

社会教育課長 令和5年度4団体を減免しており、町主催以外は、県教育委員会、郡体育協会を免除している。

荒木 使用料減免基準については、施設を維持するために使用料免除の対象団体を住民に限定すべきだと考える。使用料免除の対象団体の見直しを考えるべきでは。

社会教育課長 ご意見の通りである。今後そのような視点についても勉強したいと思う。

荒木 子ども議会を傍聴して「公共交通機関が少ないためスクールバスのある私立高校を選んでしまい選択肢が少なくなっている。町として時間帯

を限定して乗合タクシーを走らせるなど具体的な対策はあるか」という質問があった。町長は「路線バス運行促進が第一であり、あいのりくんでの運行拡大は困難」と答弁し、問題の解決には至っていない。子どもたちの為に対策を示していただけないか。

町長 三加和地区の公共交通の状況に対する不安という声が上がった。生徒の方には路線バスの維持費用について説明をした。多くの費用、補助金を支出していることを理解していただき生徒の方は、「町民の皆さんに路線バスの現状を伝え理解してもらうことが大事」とご意見いただき質問を終えた。今後の対応について調査、研究していく必要がある。

令和5年10月1日現在 和水町人口動態

出生数	40	転入者	221
死亡者	198	転出者	315
自然増減	-158	社会増減	-94

※自然減、社会減共に玉名郡4町において最も減少している



齊木 幸男議員



旧南小学校の跡地活用は・避難所の新設や変更は蜻浦の町有林と林道は・たまな圏域電子図書館は幼児英語教育と小中学生の英語学習は

齊木 旧南小学校跡地の活用状況は。

町長 所有権移転から3年となる令和7年1月の

事業開始の期限が迫っている。

齊木 事業開始の期限が切れたら対応は。

まちづくり課長 買い戻しができるとなっている。

齊木 避難所が無い校区をどう捉えているか。

町長 新規の避難所を設けることは厳しい。

齊木 「校区に一つは避難所を設ける議題」を防災会議で取り上げていただきたい。

町長 旧町単位で避難所を設置している。

齊木 仮に旧南小学校跡地の開発が行われないなら、

南小学校跡地



令和4年1月17日に所有権移転（事業開始期限は3年）

体育館が戻ってくる。コミュニティの場や避難所としての活用をできないか。

町長 仮定の話は差し控える。

齊木 蜻浦林道の整備方針は。

町長 林道整備から35年以上経過し老朽化。道路点検と適切な林道整備事業を行っていく計画。

齊木 森林環境贈与税は林道整備に使えるか。

町長 災害等で国庫補助に該当しないと使える。

齊木 町電子図書館の学校等への周知は。

社会教育課長 5月の校長会でお知らせした。

齊木 町小中学生に図書カードや電子図書館のIDを発行するのか。

社会教育課長 準備している。

齊木 町資料は電子図書の郷土資料に入るのか。

社会教育課長 協議する。

齊木 6年目の幼児英語教育は継続するのか。

町長 これからも継続していきたい。



亀崎 清貴議員



町道の適正な管理と区役等の除草作業の負担軽減を!! 歴史民俗資料館の移転・新設と江田船山古墳公園の活性化を!!

亀崎 町は年度当初に、民間事業者と契約をして町道の維持管理に努めているが現在のところ民間事業者が報告書作成時にチェックシート等の定めはない。事業者の統一的な判断基準やチェックシート等を設けられないか。

建設課長 現在、町道の破損・倒木・崖崩れ等をABC段階で区別するチェック表を作成するようにしている。業者の目線の統一もやっていきたい。

亀崎 行政区の除草作業について鳥獣被害の対策、不法投棄や地域の景観維持からも「区役」は必要であるが、人口減少高齢化により非常に存続が難しくなっている。町の所有する乗用草刈り機の貸し出しや除草機械のリースが出来ないか。併せて土木費補助の増額はできないか。

建設課長 町所有の乗用草刈り機は台数に限りか

あり、満足に貸し出しできない。業者からの除草機械のレンタルは検討させていただいている。土木費補助の増額は慎重に検討させていただきたい。

亀崎 江田船山古墳は熊本県初の国宝であり歴史教科書にも登場する本町が国内外に誇る後世に残していくべき歴史遺産であり、その核となる施設が歴史民俗資料館だと思う。資料展示だけでなく、様々な機能を持たせた複合施設として移転新設できないか。

町長 財政状況・維持管理・集客性などを総合的に検討し、今後の方向性を定めていきたい。

亀崎 江田船山古墳公園一帯の資産を町の起爆剤として活用し、人を呼び込む施策として古墳のある市町村と連携して「古墳サミット」等開催できないか。

町長 「古墳サミット」の提案は面白いと思う。今後検討し、実現に向けて頑張るようにしたい。



木原 泰代議員



和水町介護保険事業の現状と今後の取り組みについて

木原 介護保険事業の現状は。

町長 介護サービス給付費は計画内で推移。介護給付安定事業はお茶の間筋トレ55地区、健康相談事業、地域ケア会議、ボランティア「なごみのわ」、見守りネットワーク等。

福祉課長 令和4年10月1日の高齢化率は43%、65歳以上の要介護認定率は20.4%、75歳以上の認定率は33.8%で国、県より高い。

木原 新規認定者の平均年齢と原因は。

福祉課長 新規認定者の平均年齢は85歳、介護の原因は、認知症、がん、脳血管疾患、骨折等。

木原 介護の実態を予防活動に生かし展開しているか。

福祉課長 要介護や要支援の実態に基づき、お茶の間筋トレ事業、膝腰げんき教室、お茶筋プラ

ス教室を開催。高齢者と介護予防の一体的な事業や生活習慣病重症化予防事業も展開している。

木原 介護保険認定調査員、介護支援専門員、訪問介護の人材の不足はないか。

福祉課長 認定調査員は確保した。介護が必要な方と介護支援専門員、訪問介護の契約はできている。今後

も不足がないよう事業所と協議をしていく。

その他の質問

和水町子ども家庭センターについて

和水町居住外国人の人数と支援について



令和6年度膝腰げんき教室

白木淳議員の調査について

調査の事情聴取は調査請求者、白木議員、当時の健康福祉課長の3名

1 調査請求内容

(1) 地方自治法第117条違反

- ①以前から繰り返しシニアカー補助金を作る様働きかけてきたこと
- ②以前から繰り返しシニアカー補助金を作る様質疑を行ってきたこと
- ③シニアカー補助金が上程された際、率先して質疑応答を行ったこと
- ④一般財源内ではあるが、その採決に参加したこと

(2) 地方自治法第92条および同条例第2条第2項および第4条違反

- ①白木鍍金塗装は白木議員のご両親が個人事業主として経営する事業所であり、シニアカー取扱店であること
- ②シニアカー補助事業期間、販売自粛しなかったこと
- ③販売自粛するどころか、シニアカーの大々的な販促活動を行っていたこと
- ④白木鍍金塗装(特定の個人)への利益誘導を優先した政治を行ってきたこと

(3) 同条例第3条違反

- ①露骨なまでのシニアカー補助金の予算確保を行い、品位を損ねたこと

〈調査請求内容に対する白木議員の説明〉

(1)の①②について「シニアカー補助金を作る様働きかけてきたことと質疑を行ったことについては議員当選時から1番の目標として訴えてきた」「免許の返納や買い物難民の問題、高齢者の引きこもりの問題など、その一助として補助金の創設を訴えた」と説明。

③について「シニアカー補助金が上程された際、率先して質疑応答を行ったことがあるが、そもそも議会に上程される際に質問する事はできません」と説明。

④について「予算審議については、仮にその費目の中に、当該議員の除斥理由となる事件が含まれている場合であっても予算は一体として不可分のものであり、その審議にあたって除斥されないとされている」と説明。

(2)の①について「地方自治法第92条の2は、普通公共団体が行う事業の請負についてうたっていますが、シニアカー購入の補助金は、町と購入者からの申請によるもので、申請を契約とするならば、個人と町との契約になり、業者の請

負ではないこととなります。当社が下請でもないことになると思います。」

「そもそも、町の工事や、物品の納入の契約もしていません。契約は買われる購入者の方と町がすることであって、うちは全然その間に入っていないので、下請でも何でもありませんよ。」と説明。

②③について「シニアカー補助事業期間、販売自粛しなかったこととあるが、取扱店としての役割を果たす意味でも、あれぐらいののぼりは必要である。ついでに当社での販売台数を申し上げさせていただきますと2月28日に登録販売した1台でございます。この1台がなければ全く売れておらず、大々的に販売促進を行っていたとの指摘には当たらない」と説明。

④について「白木鍍金塗装(特定の個人)への利益誘導を優先した政治を行ってきたことあるが、一般質問や全協で申し上げてきたように利益の誘導に当たるような発言は1回もない」と説明。

(3)の①について「露骨なまでのシニアカー補助金の予算確保を行い、品位を損ねたとあるが、そもそも当選後最初の一般質問でも申し上げているとおり高齢者の免許返納や「年金生活者がローンを組むことができないなどの一助になれば」との思いで訴えてきた。品位を損ねたと言われるのは遺憾である」と説明。

2 調査結果

和水町議会議員の政治倫理に関する条例第2条第2項に掲げる議員の責務及び同条例第3条第1項の政治倫理基準に抵触する。

抵触する3名、抵触しない2名。

(理 由)

- ・議員は町民全体の代表者として公人の立場であるが、本件について、町民から利益誘導の疑惑を持たれる行為があり、実際に販売も行っていることから販売自粛など議員として最大限の配慮が必要であったと考える。
- ・白木議員の行動、言動が町民に疑惑を抱かせたことで、このような調査請求書が提出されたことは重く受け止める必要がある。

【少数意見の留保】

- ・地方自治法第117条の除斥の件について、予算の審議は一体としての不可分のため除斥は必要ない。また、今回のシニアカー購入補助金については、町と購入者の契約となる。購入先の指定もなかったことから和水町議会議員の政治倫理に関する条例第2条第2項に掲げる議員の責務及び同条例第3条第1項の政治倫理基準には抵触しない。



千々岩 繁議員



防災について 和水町防災訓練を終えて今後の課題や改善点は？

千々岩 防災訓練を実施した中で課題や改善点は？

総務課長 災害内容が曖昧だったため、災害に

即した訓練が的確でなかった。屋外防災無線の内容が聞きづらい等の意見を受け、次回はしっかり検討していく。

千々岩 防災行政無線の対策について。

総務課長 和水町公式LINEの活用や近所間や消防団の協力を得たい。

千々岩 全国避難所ガイドというアプリがある。町の公式LINEと併せて住民の皆様にも活用していただきたい。自主防災組織(行政区)で防災訓練を行っているか。

総務課長 昨年度、区長会で自主防災組織の講演会を実施した。興味を持たれた行政区に県から講師を派遣し勉強会を実施した。



防災訓練の避難の様子

千々岩 自主防災組織で訓練を行うには費用が伴うが支援策は？

総務課長 自主防災組織の備品関係では、コミュニティ助成事業がある。

千々岩 外国人に対する対策については？

総務課長 和水町には、13カ国85人の外国人が居住している。特性に配慮した災害時の対応や防災啓発が必要である。町としては、外国人に対する様々な配慮を整備していきたい。

千々岩 防災について町長の見解を伺いたい。

町長 町民の生命財産を守るため、重要な責務である。平常時より地域防災計画に定められた役割や行動を再確認し、関係機関と定期的な訓練が必要である。県の防災危機管理課のアドバイスを戴きながら防災力の向上に努めたい。

「議会傍聴での学びを今後の糧に」

国家公務員の初任行政研修の一環で6月定例会を傍聴し、有意義な学びを得られました。

第一に、自治体議会の傍聴は、その自治体の現状や課題を把握する上で有効なツールであるということを学びました。住民の声を代表する議員の質問と町長・町幹部の答弁を聞くことで、和水町が教育、特に英語教育に力を入れていることや、災害時の避難所設置における人的リソースの問題などを知ることができました。今後、自治体と仕事をする機会や自治体出向の機会があった際には、議会傍聴を通じて効率的にその自治体の勉強ができるかもしれないと考えました。

第二に、あらゆる政策分野を一つの組織で担う自治体ならではの視点を学びました。国の行政機関は基本的には省庁単位で活動します。例えば、学校については教育政策を担当する文部科学省が所管します。一方、町議会においては、廃校となった小



初任行政研修に来られた国職員の皆さん

学校の跡地に関する質疑が避難所整備という防災政策の文脈で行われていました。学校が教育施設のみならず、学区を単位とした行政サービスやコミュニティ形成の中心としての役割も有しているため、子どもの減少に応じて学校を廃止するだけでは問題解決にならず、廃校後の施設の扱いについても自治体は骨を折っていると認識しました。国の各省庁が担う政策分野を一手に担う自治体の負担に留意する必要性を実感しました。

今回の傍聴で得た学びを霞が関に持ち帰り、今後の政策立案の糧にしたいと思います。

令和6年第2回定例会から タブレットを導入しました

和水町議会では、会議資料のペーパーレス化や事務作業の軽減化などを図るため、令和6年第2回（6月）定例会からタブレットを導入しました。

タブレット導入により紙資料等の経費削減に取り組み、効率かつ円滑な議会運営を推進していきます。



一般質問の 動画配信（録画）を始めました

和水町議会では、町民の皆様に関心を高めていただくため、また、「傍聴に行きたくても時間がない」などの声にこたえるため、令和6年第2回（6月）定例会から一般質問の動画配信を行っています。

動画は会議終了後に編集作業を行い配信しています。町ホームページを確認ください。

動画視聴はこちらから



全国正副議長研修会報告

5月21日（火）東京国際フォーラムで全国町村議会の正副議長研修会が開催され参加しました。

「議員のなり手不足」、「パワーハラスメント」、「地方議会の担い手」の3つのテーマで講演がありました。

特に、全国の町村で「議員のなり手不足」が深刻な問題となっています。直近5年間の町村議員選挙では、3割が無投票となっている状況です。

選挙期日の期間	R元年5月～R5年4月
無投票町村数（割合）	254／926（27.4％）
立候補者数が「定数+1」の町村数	299／926（32.2％）
合 計	553／926（59.7％）

無投票町村のうち、定員割れの町村数は31
和水町は「定数+1」に分類されます

「地方自治は民主主義の学校」と言われ、なり手不足や無投票は、地方自治の弱体化、政治に対する無関心を招き、県政や国政への関心が低下すると危惧されています。

翌22日（水）には、熊本県選出国議員との意見交換会がありました。

玉名郡議長会から有明沿岸道路の熊本県側の早期整備と国道443号・県道玉名立花線の整備を要望しました。



町村議会議長・副議長研修会

議会だより表紙を募集しています

和水町の風景やイベントなどの写真を募集しています。和水町の議会だよりは年4回（5月・8月・11月・2月）発行しています。

随時募集しておりますので、皆様のご応募をお待ちしています。

写真が採用された方には、粗品を進呈します。

【募集内容】

- ・応募者本人が概ね1年以内に撮影した写真
- ・和水町の町民の方の活躍、日常生活、イベントや季節の風景などの写真

【応募方法】

写真をCDやUSBに保存して持参・郵送または電子メール

詳しくは、お問い合わせください。

【お問合せ】議会事務局

電話

☎0968 - 86 - 5729

メールアドレス

n-gikai@town.nagomi.lg.jp



防災避難訓練の重要性を再認識

令和6年3月17日（日）原口地区の住民を対象に防災避難訓練が実施されました。

午前9時に避難訓練放送があり、地域の公民館に集合して、避難所（町体育館）に移動。受付で避難者の確認が行われ、雨の中に約90人が参加しました。

会場では、健康チェック・AEDの使い方訓練・防火グッズや災害用非常食等が展示され

ました。また、和水町ドローン協議会による要救助者模擬捜索の予定でしたが、雨のため屋内での展示・実演のみとなりました。

参加者は、熱心に見学し、炊き出し訓練で準備した昼食をとって解散となりました。

いつ、どこで発生するか分からない自然災害時に、町民の生命・財産を守るために、防災避難訓練は重要であると改めて認識しました。



和水町ドローン協議会による説明の様子





議会のうごき

ACTION

3月定例会以降の主な行事について報告します。

3月

- 22日(金) ◆三加和小学校卒業証書授与式
- 25日(月) ◆玉名八女線道路整備促進期成会要望活動
- 27日(水) ◆和水川1舟ペーロン大会実行委員会
◆和水町振興計画審議会

4月

- 5日(金) ◆広報調査特別委員会
- 7日(日) ◆和水町消防団辞令交付式
- 9日(火) ◆三加和小学校入学式
◆三加和中学校入学式
- 11日(木) ◆広報調査特別委員会
◆厚生建設経済常任委員会
- 14日(日) ◆和水町青年団総会
- 15日(月) ◆玉名郡議長会4月(第1回)定例会
- 17日(水) ◆和水町商工会青年部通常総会
- 22日(月) ◆総務文教常任委員会
- 24日(水) ◆和水町議会全員協議会
- 26日(金) ◆なごみAG会総会
- 27日(土) ◆和水町消防団新旧幹部等歓送迎会
- 28日(日) ◆さくすい荘家族会総会

5月

- 1日(水) ◆玉東町役場新庁舎落成式
- 9日(木) ◆総務文教常任委員会
- 11日(土) ◆和水町ボランティア連絡協議会総会
◆玉名郡保育研究大会
- 12日(日) ◆和水町地域婦人会総会
- 20~22日(月)~(水)
◆議長・副議長研修会、県関係国会議員への要望
- 24日(金) ◆厚生建設経済常任委員会
◆和水町建友会懇談会
- 30日(木) ◆和水町議会運営委員会

6月

- 10~14日(月)~(金)
◆令和6年第2回和水町議会定例会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
千々岩 繁	木原 泰代	白木 淳	笹渕 賢吾	荒木 宏太	亀崎 清貴

広報委員

広報委員 千々岩 繁

表紙の紹介

6月15日(土) 22日(土) 23日(日) 玉名荒尾中学校総合体育大会が開催されました。菊水中学校からはバレーボール、野球、バドミントン、水泳、空手道、三加和中学校からはソフトテニスに出場されました。



この日まで生徒達は一生懸命練習に取り組んできました。大会当日は、仲間や保護者の方々の応援を力に、全力で頑張りました。



共に頑張ってきた仲間との絆は一生の宝物になると思います。これからの益々の活躍を期待しています。

議会傍聴をお待ちしています!

定例会は、原則として3月・6月・9月・12月に開催され、行政に対する一般質問などが行われます。

定例会日程や一般質問等の詳細は、町のホームページ、議会事務局にお尋ね下さい。

役場本庁1階ロビー、支所ロビー、中央公民館、三加和公民館でも生中継でご覧になれます。

編集後記



4月より各常任委員会等のメンバーも替わり新たな2年間のスタートを切りました。議会広報特別委員会のメンバーは任期が4年のため、変更はありませんでしたが、委員長交代があり、亀崎委員が新委員長に選任されました。議会だよりも、すべての町民の皆さんに読んでいただけるよう委員長を中心に工夫・改善等を行っていききたいと思います。

6月定例会よりタブレットが導入されました。まだまだ使いこなすというところまではいきませんが、議員の利便性向上で、資料の受取・携行・保管等が容易になりました。

また執行部・議会事務局の負担軽減や経費・労務の削減等が改善されていくと思います。さらに、議会の動画配信もスタートします。1人でも多くの町民の皆さんに議会中継を見ていただき議会をより身近に感じて頂ければ幸いです。